



水中でくらすこん虫の幼虫は、どうやって息をしているの

ヤゴは、腸で呼吸している

ふつうによく見かける、トンボの幼虫のヤゴは、よく見ると、おしりから水を吸いだり、出したりしています。ヤゴのおしりから続く直腸のまわりに、気管がたくさん集まっていて、直腸に吸いこまれた水の中から、酸素を取りこむ、しかけになっています。これを、直腸気管えらとよびます。

気管えらで、呼吸しているものが多い

トンボの仲間でも、ちょっと種類がちがうイトトンボやカワトンボのヤゴは、おしりの先に、3枚のしっぽのようなえらがあります。このえらから、水中の酸素を取り入れています。これを、気管えらとよんでいます。でも、えらがとれても死なないので、ほかの方法でも呼吸をしているようですが、まだ、くわしくはわかっていません。

気管えらは、図のように、細かい毛がふさのようになっていたり、糸のようだったりして、えらがついている場所も、こん虫によってさまざまです。（監修・中山 周平）

